

南阿蘇村 復興むらづくり だより

復興推進課
TEL(67) 11133

VOL.9

「南阿蘇村実働型防災訓練」が行われました

11月26日、立野地域において「実働型防災訓練」が行われました。これは、平成28年熊本地震を教訓に見直しを行っている「地域防災計画」の内容を踏まえ、主に地域住民の防災意識の向上、村の災害対応体制の確認、関係機関との連携強化を目的に実施されたものです。



災害対策本部の様子(役場大会議室)

■訓練の概要

- ①実施日時
平成29年11月26日(日)午前8時～
- ②対象地域
立野地域(立野区、新所区、立野駅区)
- ③大まかな訓練の流れ

状況	時間
当日朝方から突発的に激しい雨が降り始め、熊本地方気象台から大雨警報が発せられる。	8:00
村に「土砂災害警戒情報」発表。村は災害警戒本部の設置および「避難勧告」を発令し、警戒本部職員を参集。	8:30
村は災害警戒本部会議を開催。一旦小雨となるが、地域住民から土砂崩れによる住家被害や道路閉塞などの情報が寄せられ、気象台からは今後非常に激しい雨が降るとの予報が出ている。	9:00
村は災害警戒本部から災害対策本部への移行を決定し、立野地域に「避難指示」を発令。	9:15
累積雨量が140ミリを超えたため、国道57号の通行規制が開始。	10:00

④参加団体

立野三区自主防災組織、村消防団、村社会福祉協議会、陸上自衛隊第四十二連隊、阿蘇広域消防本部、高森警察署、県危機管理防災課、県阿蘇地域振興局総務振興課、国土交通省熊本河川国道事務所、熊本大学減災教育研究センターなど

⑤参加人数 約400人

今回の訓練では、今後、立野地域住民の皆さんが、現地再建される場合に重要なポイントとなる避難体制を確認する目的もあり、多くの課題が洗い出されました。村としては、今回の訓練を踏まえ、立野地域だけでなく全ての地域において、地震や風水害に備えて、安全・安心な地域づくりを進めてまいります。



避難所の様子(旧立野小学校体育館)